

マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果

- 参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
2) マダニ媒介SFTSとは
3) マダニの生活環



KANA S. Illustrations
衛生昆虫写真館 Photos

マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所昆虫医科学部
Tel: 03-5285-1111 (代表)
Fax: 03-5285-1178
e-mail: info@nih.go.jp

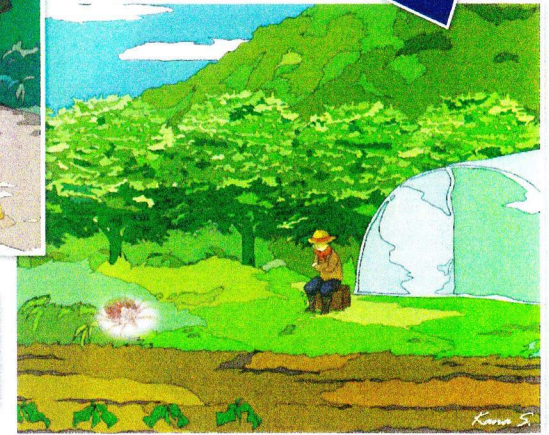
SFTS対策全般に関するお問い合わせ

国立感染症研究所
Tel: 03-5285-1111(代表)
厚生労働省健康局結核感染症課
Tel: 03-5253-1111(代表)

1. マダニの生息場所



マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

2. マダニから身を守る服装

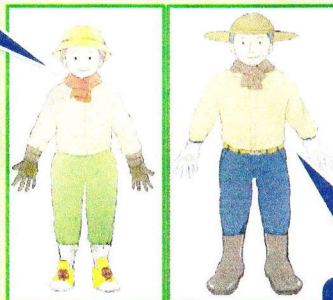
野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



半ズボンやサンダル履きは不適当です！



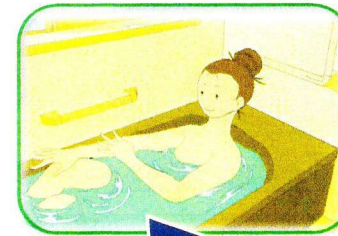
シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。

農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

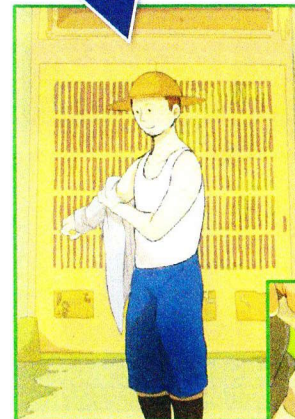
ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。



屋外活動後は、シャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェックしましょう。



ガムテープを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。



ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

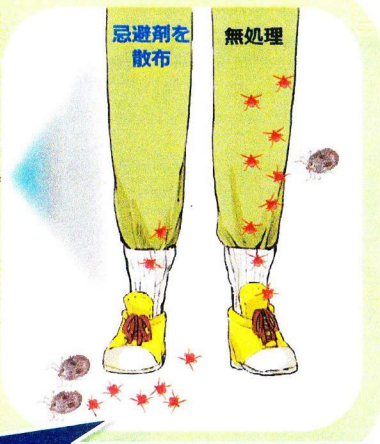
マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4. 忌避剤の効果

海外ではマダニ対策に**忌避剤(虫よけ剤)**が使用されていますが、日本には、マダニ用に市販されている忌避剤は今のところありません。

日本では、ツツガムシ(ダニ目ツツガムシ科)を忌避する用途で、衣服に塗布して使用する忌避剤(医薬品)が複数市販されています。

このような忌避剤を使用し、**マダニに対して一定の忌避効果が得られることが確認されました。**



ディート(忌避剤)の使用でマダニ付着数は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。

参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

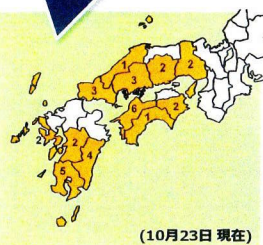
重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

これまでに、**中国・日本・韓国**でSFTSの患者が報告されています。中国では**フタトゲチマダニ**と**オウシマダニ**からウイルスが見つかっています。



ウイルスの潜伏期間は(マダニに咬まれてから) **6日~2週間**とされています。

2013年は、西日本の12県でSFTS患者が報告されています。
()内は発症数



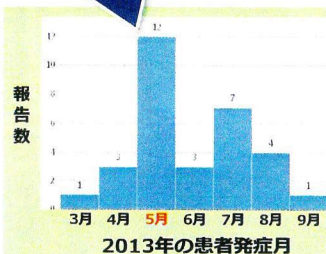
SFTS患者報告基本情報

合計	33名
性別	
男	12
女	21
年齢	
中央値	73歳
40代	1
50代	4
60代	6
70代	9
80代	10
90代	3

(10月23日 現在)

2013年1月1日以降に報告された患者(合計33名)は **40代以上**でした。

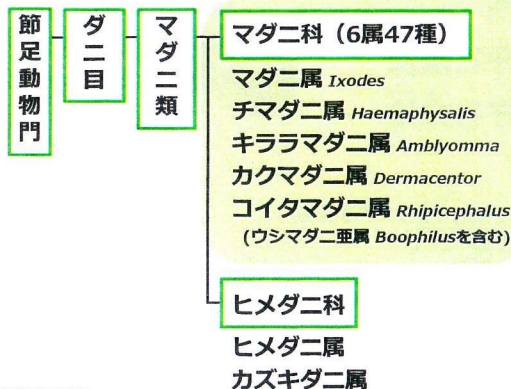
2013年のSFTS患者は **5月に多く発症**しています。



資料は、国立感染症研究所ホームページ：
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/3143-sfts.html>を引用

参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症

マダニは、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。



マダニが媒介する感染症

()内は病原体の種類

- 日本紅斑熱 (リケッチア)
- Q熱 (リケッチア)
- ライム病 (スピロヘータ)
- ボレリア症 (細菌)
- 野兔病 (細菌)

重症熱性血小板減少症候群 SFTS

- (フレボウイルス)
- ダニ媒介性脳炎 (フラビウイルス)
- キャサヌル森林病 (フラビウイルス)
- クリミア・コンゴ出血熱 (ナイロウイルス)
-など

参考資料 3) マダニの生活環

マダニは、

幼ダニ、若ダニ、成ダニの各ステージで1回ずつ、生涯で3回吸血します。

マダニは、

ヒト以外に、野ネズミ、野ウサギ、シカ、イノシシなどの野生動物や、ネコ、散歩中のイヌなども吸血しています。



マダニの多くは、

春から秋(3~11月)にかけて活動が活発になりますが、冬季も活動する種類もいます。